

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス宜野湾教室		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 13日	～	令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 13日	～	令和8年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 1月 13日	～	令和8年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	協力体制が整っており、会社全ての事業所との交流に於いて十分な研修、理解が行われる。	事業所内の職員の協力体制が整っている。	事業所だけでなく、会社全体の協力体制が整っている。
2	学校の先生方と日頃から情報共有しており、協力体制が整っている。	送迎前の申し送りなど、必要な際は都度、声をかけてどの職員がお迎えに行っても児童の学校の先生と話が出来るようにしている。	学校だけでなく、日頃からご家庭に本児の事についての相談や共有等をしており、必要な際は学校とも情報交換を行って日々の療育に生かしている。
3	学校、ご家庭、事業所等と連携して児童の特性に合わせた支援をしており、児童が困っている場面を観察し支援できる体制を整えている。	ご本人様の目線で物事を考え、困り感を共有する為、日々会議や声掛け等を行い、全ての支援者が同じ方向性をもって支援できるように取り組んでいる。	学校等での出来事を振り返り、ご家庭や学校等の先生等にアプローチしていく。また、振り返りの際に困り感などがあれば、再度観察を試み、方向性を整えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援を開始できていない。	保護者の皆様が保育所等訪問支援事業をご存じない方が多いことや、学校での困り感の共有が出来ていない。	保育所等訪問支援が必要である児童の保護者様へ、支援の内容を説明し、利用を促していく。
2	保護者会が無い事で保護者間の共有する悩みや知り合いの輪を広げるといった事が少ない。	児童がいる時間帯に保護者会を開くには職員の人数や体勢に支障をきたすこと、夜間の開催にはご家庭を持つ職員が多いこと等の要因がありなかなか保護者会を開けない。	月に1～2回は土曜日に、イベントを設け、1年に2回ほど保護者参加型のイベントを設け、保護者や地域を巻き込んだ活動が出来るよう工夫をしていく。
3	年間計画を通して安全面を大々的に保護者にも児童にも周知できるようにしたい。	年間計画や防災訓練、避難訓練、活動内容などをその都度周知しているが、保護者に行き届いていない様子が確認できた。今後も、お知らせを日頃から口頭で話したり、メールや広報誌、ホームページなどでも継続してお伝えしていく。	年間計画、その他、大事な計画や報告は送迎時間以外でも周知してもらえるよう、話をしていく。また、メールやLINE以外でもお知らせなど広報活動に取り組み、取りこぼしなくお伝えできるようにしたい。